

1月～3月 議会のうごき

令和2年1月以降の議会の主な活動状況を次のとおりお知らせします。

- <1月>
 7日 広報小委員会
 10日 議会運営委員会／広報小委員会
 15日～17日 総務常任委員会管外行政視察（滋賀県東近江市、奈良県生駒市、兵庫県神戸市）
 21日 全員協議会／市選挙管理委員会委員及び補充員選考委員会／岩手県沿岸広域振興局大船渡各センター所長等との情報交換会
 22日～24日 産業建設常任委員会管外行政視察（香川県丸亀市、岡山県玉野市）
 27日～28日 議会運営委員会管外行政視察（愛知県犬山市、名古屋市）
 29日～31日 教育民生常任委員会管外行政視察（山口県周防大島町、兵庫県相生市）
- <2月>
 3日 市選挙管理委員会委員及び補充員選考委員会／一関市議会・気仙沼市議会・陸前高田市議会議員研修会
 6日 市選挙管理委員会委員及び補充員選考委員会
 10日 全員協議会／議会基本条例と議会改革の現状に係るセミナー／復興対策特別委員会理事会
 14日 議会運営委員会／広報小委員会
 19日 第1回定例会（～3月12日）本会議／全員協議会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会／広聴小委員会／広報小委員会
 25日 本会議（一般質問）／会派代表者会
 26日 本会議（一般質問）
 27日 本会議（一般質問）／予算等特別委員会／広聴小委員会
 28日 予算等特別委員会
- <3月>
 3日 本会議／予算等特別委員会
 4日 予算等特別委員会
 5日 予算等特別委員会／市政調査会理事会
 6日 復興対策特別委員会／広聴広報特別委員会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会
 9日 予算等特別委員会
 12日 議会運営委員会／本会議／全員協議会／市政調査会／広報小委員会
 25日 議会運営委員会／広聴小委員会／広報小委員会

YouTube 配信お知らせ



インターネットのYouTubeから会議の音声配信します。
 本市議会のYouTubeは、陸前高田市ホームページ内の市議会のページから開くことができます。

※市議会YouTubeの視聴方法
 陸前高田市ホームページ→市議会→陸前高田市議会YouTubeをクリックすると陸前高田市議会のチャンネルへと移動しますので、視聴したい会議を選んでクリックしてください。

議会だより「クイズ」

○の中にはどんな文字が入るでしょうか？

3月議会では本市議会初となる

「〇〇〇〇討議」が導入された。

〈応募方法〉クイズの答え、住所、氏名、年齢を記入の上、ハガキまたはFAX(0192-53-1210)で応募してください。

また、議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。

正解者の中から抽選で5人に粗品をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。

※いただいた意見・要望などは次回の議会だよりに掲載することがあります（住所、氏名は掲載しません）。

〈あて先〉〒029-2292 陸前高田市高田町字鳴石 42-5
 陸前高田市議会事務局 宛
 〈しめきり〉5月15日（金）（当日消印有効）

市議会だより第111号クイズの答え

○の中にはどんな文字が入るでしょうか？

令和元年11月に行った議会と語る会は、

高田高校と〇〇業協会と行った。

（答え）建設

みんなの声

市民の皆さまから議会に寄せられた意見・要望などを一部ご紹介します。
 （文章が長い場合は、抜粋して掲載させていただきます。）

〇市議会だよりは毎回読んでいます。それぞれの議員の考えていることに関心を持って見えています。

台風19号の時、怪しい車が止まっていると思ったら、〇〇町の議員が一人で被害状況をメモしながら歩いていました。感動しました。

議会基本条例と議会改革の現状に係るセミナー

本市議会（福田利喜議長）は2月10日、市役所内で「議会基本条例と議会改革の現状について」と題するセミナーを開きました。山梨学院大学法学部の江藤俊昭教授を講師に招き、本市議会をはじめ近隣の議会関係者と市民ら約70人が参加し、その意義や議会のあり方などについて学びました。

本市議会の議会基本条例は議会の公平性と透明性を確保し、市民に開かれた議会を目指す上で、あるべき姿を定めるものとして平成21年12月に制定。今回のセミナーは、同条例の達成度を検証するとともに、他自治体における議会改革の現状などについて学び、市民と情報共有を図るために本市議会が企画しました。

江藤教授は「住民自治の根幹は議会である」ということを忘れないでほしい」と呼びかけ、議会基本条例はあくまで「ルール」であり、そのルールのもとで住民福祉のためどのように動いていくかが重要であるとししました。

さらに、地方自治の原理である二元代表制について説明し、「ある程度



江藤教授を講師にセミナー

度の緊張感を保って、首長としつかり政策論議を行い、議案が出たら議員同士でどこに論点があるか整理すべき」と語りました。また、「議会がどれほど重い権限を持っているか、その責任を感じながら運営すべき。なぜこれだけの権限が議会にあるのか」というと、それは住民自治の根幹だから」と繰り返し、本市議会における議会基本条例の検証の意義とそれに対する厳しい評価を行いました。

気仙地方の木材流通に関する意見交換

住田町議会（滝本正徳議長）主催による気仙地方の木材流通に関する意見交換会が2月21日、竹駒町のけせんプレカット事業協同組合高田工場で開催されました。

はじめに組合職員の案内により、工場内を見学しました。平成13年の工場設立以来、着々とその業績を伸ばしてきた施設には、在来工法はもちろん、ツーバイフォー、金物工法など、変化する住宅建築に対応すべく、各種加工機械が設備されていました。

広い工場内に人の姿はあまり見かけず、ベルトの上の木材が動いたかと思うと、数十秒後には、複雑な仕口や継ぎ手がきれいに刻まれていました。使用されている材のほとんどが集成材。工場内で目にした無垢材は、10センチ前後の太さの角材数十本だけでした。

その後、専務理事の泉田十太郎氏が「けせんプレカットが目指す未来の木材産業について」講演しました。同組合は、川上から川下まで一貫した流通体制を構築し、高品質、低価格な製品を供給しています。その目指すものは、新技術であるCLT



プレカット工場内を見学

（直交修正板）、端材、廃材等の活用によるバイオマス発電、そしてその余剰電力利用による水素の製造に取り組むことで、林業を6次産業化し、地球環境に貢献することでした。その実現に向けて宮古地方、遠野地方の木工団地との広域連携を進めています。

未来を見据え、舵の方向性も定めた内容で、担い手不足に悩む林業に、光が差し込むように感じました。